

2017年4月 生活歳時記（気候・消費動向・ストア販売動向）

九州版

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週		
2017年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
2017年 曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
行事 歳時 記念日	◆エイプリルフール(4/1)							◆花見							◆入社式							◆昭和の日(4/29)							◆メーデー(5/1)		
	◆清明(4/4)							◆春の土用の入り(4/17)							◆春の土用の丑の日(4/20)							GWの予定を考える									
2016年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
2016年 曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
天気 ※熊本	曇一時雨	曇時々晴	曇後雨	曇一時雨	晴	曇	雨	曇後晴	曇	曇	曇	曇時々晴	曇一時雨	晴一時曇	晴	曇時々晴	晴一時曇	曇時々雨	晴	晴時々曇	大雨	晴時々曇	曇後雨	曇時々雨	雨時々曇	曇	雨時々曇	曇一時雨	快晴	快晴	晴
最高気温 ※熊本	18.1	24.3	22.3	20.4	21.2	21.5	22.2	21.0	24.7	20.8	21.4	23.8	22.9	27.0	27.2	24.5	20.2	16.9	22.4	25.2	21.5	23.7	18.3	18.5	19.8	26.3	21.5	19.7	22.2	23.9	26.5
最低気温 ※熊本	13.2	11.5	14.9	13.4	10.1	12.3	15.8	14.1	11.9	14.0	11.6	9.6	13.2	15.7	12.0	13.1	12.7	10.1	7.1	8.0	15.3	15.5	13.9	13.6	15.3	16.1	17.9	13.3	9.7	9.0	12.4
年間支出順位	内食順位: 31位(平日: 36位・休日: 12位)							内食順位: 44位(平日: 50位・休日: 26位)							内食順位: 26位(平日: 25位・休日: 17位)							内食順位: 33位(平日: 32位・休日: 33位)							内食順位: 3位 (平日: 4位・休日: 15位)		

2016年4月資料

※総務省 家計調査より

九州 沖縄	前年4月消費支出金額	269,497円	前年4月食費支出金額	66,086円	前年4月光熱費支出金額	19,449円
	前年同月差異	-32,685円	前年同月差異	624円	前年同月差異	-1,341円
	前月差異	-11,611円	前月差異	-3,295円	前月差異	-1,943円

SM売上総額前年比(前月) ※日本スーパーマーケット協会マンスリーレポートより	青果	精肉	鮮魚	惣菜	日配 加工食品	他	4月の注目アイテム年間順位(16年家計調査データより)												
101.9% (101.5%)	●野菜では、気温環境により「トマト」「アスパラ」などのサラダ材料が売上を伸ばした一方、相場安で販売単価が下がった「きゅうり」「きゃべつ」は売上が減少した。 ●果実は、供給量が少なかった「国産柑橘」が不振だった一方、供給量が安定してきた「いちご」が好調であった。 ●輸入フルーツは、「バナナ」が一部にフィリピン産の供給不安定によるマイナス影響を受けたが、概ね好調。また、「ぶどう」の売上伸長が続いている。	●牛肉の相場が依然として高く、昨年より販売価格が高くなっている「和牛」は厳しい販売環境が続く。一方、相場が安値安定している豚肉の売上は堅調で、特に気温環境で「生姜焼き用」が好調であった。 ●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。 ●要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。 ●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。 ●「かつお」は大型サイズの入荷が多く、値ごろ感を出しづらいう状況で売上を減らした。 ●「海藻類」が売上を伸ばした。特に病気予防効果のある食材としてテレビ番組で紹介された「もずく」が好調であった。	●「寿司」が堅調のほか、花見・行楽関連で提案をした「弁当」「おつまみ関連」が売上を伸ばした。特に「やきとり」が好調に推移し大きく売上を伸ばした。 ●サラダ類、フライ類、涼味めんが順調な動向を示した。いずれも、気温環境によるところが大きい。	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。 ●日配では気温環境により「アイスクリーム」「飲料」「デザート」などが、加工食品では気温環境、行楽需要で「飲料」「ビール類」などが売上を伸ばした。 ●熊本地震の影響で備蓄品関連の動きがあり、「ミネラルウォーター」「缶詰」「カップめん」「即席米飯」等が売上を伸ばした。	<春の行楽の状況> ●花見対応の需要期において、一部天候によるマイナスの影響もあったが、概ね好調であった。 ●菓子部門では、携帯しやすい「スナック菓子」や「珍味」の動きが良く売上を伸ばした。 ●惣菜部門においては、「弁当」「オードブル」「おにぎり」が好調のほか、おつまみ関係の提案を強化し、「やきとり」を伸ばさせている成功事例が多い。 ●天候や気温環境もあり、パーベキュー材料が好調で、畜産部門の「焼肉セット」の売上を伸ばした事例が多い。 <その他カレンダーマーケット(新生活・ハレの日提案)の状況> ●新生活では朝食提案として、簡便性の高い「シリアル」「スープ」を訴求し売上を伸ばした。 ●ハレの日の提案では、「刺身」「焼肉」「ステーキ」の取り組みが多く、概ね好調であった。	注目アイテム	4/2~ 4/8	4/9~ 4/15	4/16~ 4/22	4/23~ 4/29	4/30~ 5/6							
青果	102.0% (102.1%)	精肉	100.8% (99.9%)	鮮魚	100.5% (100.6%)	惣菜	102.2% (102.4%)	日配	102.9% (102.9%)	加工食品	103.4% (102.7%)	生活関連	101.4% (100.5%)	キャベツ	17	15	12	10	5
														じゃがいも	9	6	5	4	3
														たまねぎ	3	1	6	15	7
														たけのこ	3	2	4	6	7
														オレンジ	9	6	2	7	3
														他の柑きつ類	11	9	12	14	15
														牛肉	32	27	25	8	2
														合いびき肉	12	6	7	33	40
														まぐろ	10	26	13	20	3
														かつお	18	17	16	10	13
														あさり	1	2	6	8	4
														弁当	3	16	20	21	4
														サラダ	32	28	7	12	3
														食パン	5	12	1	20	4
														ドレッシング	17	14	15	9	11
														年間順位	ベスト10以内			注目週	(赤字)